

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

あの絶景はわすれられない

神山小学校五年 瀬山 莉央

「あ、光が差した。あと一步、あと一步。や  
ったー。ついたー。」

初めて登った太鼓岩。宿泊学習でみんなと  
いっしょに登った。バスで白谷雲水峡の入口  
まで行き、ドキドキしながら出発した。

「太鼓岩ってどんな所だろう。」  
と思っっているうちに、さつきつり橋という橋  
に出合った。わたるとあまりゆれなかったの

で、みんなでジャンプしてゆらしながら楽し  
く歩いた。

歩いていると中で、研修センターのまるち  
やんが木やコケ、花のことについて教えてく  
れた。見たことのないフカフカのコケ、すぐ

く小さくてかわいい花、そして、一番おどろ  
いたことはヒメシヤラという木のことだ。ヒ  
メシヤラは、昔クラーリのかわりに使われて

いて、実際にさわってみるとすごく冷たくて  
ふるふるしていた。実は、コケが木について

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

はがれたから冷たくつるつるになるそうだ。  
 ヒメシヤラってすごいなあと思った。  
 だんだんと、登りが急になってきて少しづつ  
 つきつくなってきた。すると、シカのすがた  
 が見えた。実を食べていて後ろを見ると、白  
 いおしりがハートになっていてかわいかった。  
 そのおかげで、登るきつさを少しわすれるこ  
 とができた。

お昼は、みんなでお弁当。イスにすわり、  
 まるくなつて顔を見合わせながら

っおいしいね。  
 と言いながら食べた。森で食べるお弁当は、

いつもとちがう味がした。川の水を飲ませて  
 もらうと、すごく冷たくてあまく感じた。

そして、また登り始めた。木のトンネルを  
 見つけた。くぐる時に、願い事をするとか

うというので、願い事をした。目をつぶって、  
 ーしゅん木の中で止まって願ってくぐった。

かなうといいな。

いよいよラストスパートという時、みんな

(不許複製)

No. 2

- 3 詩ほどの行も三はんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。



1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。  
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

で歌いながら登った。  
っついに、ついた。  
と頂上でさげんだ。岩をたたくと「ボンッポ  
ンッ」とおなかをたたいたような音がした。  
下を見てみると、緑が一面に広がっていてこ  
こにしかない景色だった。

いろいろと学び、願い事をし、きれいな景  
色を見て、また一つ思い出がふえた。登りき  
り頂上について、最高な一日だった。みんな  
で登った太鼓岩。あの絶景はわすれられない。

Handwriting practice grid with 20 columns and 20 rows.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。  
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

